

(公社)日本鑄造工学会東海支部静岡地区「鑄物技術講演会」・「工場見学会」開催案内

主催 公益社団法人日本鑄造工学会東海支部

日本鑄造工学会東海支部では、下記により鑄物技術講演会・工場見学会を開催します。ご多忙中とは存じますが、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。他支部からの参加も歓迎します。

【鑄物技術講演会】 ※(定員数 100 名)先着順定員になり次第締め切ります。

日 時 平成 30 年 2 月 13 日 (火) 13:00~17:00

場 所 「グランシップ」910 会議室 静岡市駿河区池田 79-4 TEL054-203-5710

(JR 東静岡駅南口に隣接・・・静岡駅ではありません。**東静岡駅です。** 静岡駅より東海道線乗り 3 分)

講演次第

1. 13:05~14:55 「キムラの目指す IoT と近未来の鑄造」 (技術講演) ㈱木村鑄造所

常務取締役開発統括 菅野利猛氏

木村鑄造所では 2015 年 12 月に IoT 課を設立し、模型部門に比べて遅れていた鑄造工場の IoT 化を推進している。本講演では、木村における過去の IT 化の歴史、木村の鑄物工場がこれから目指す IoT と AI (ニューラルネットワーク) について、また中小企業の IoT 化の考え方と進め方について解説する。群馬工場での実施例についても報告する。

2. 15:05~16:15 「韮山反射炉の研究と世界遺産登録」 (技術講演) ㈱木村鑄造所 常務取締役開発統括 菅野利猛氏

成分分析装置もなく温度計もなかった 160 年前に、鑄物師達はどのようにして反射炉で加工できる鑄鉄製の大砲を作ることができたのか。本講演では、韮山反射炉に隠された幾つかのミステリーを、実験を通して工学的に解明した結果を報告する。翌日の韮山反射炉見学会が、分かりやすくかつ楽しくなるように解説します。

3. 16:25~16:55 「断熱押湯スリーブの開発」 (鑄鉄鑄物研究部会報告) ㈱マツバラ興業 取締役部長 川島浩一氏

本開発では、鑄込まれる溶湯の約 30% を占める押湯を削減するため、保温性を高めて給湯効果を持続した断熱押湯スリーブを開発しました。これにより、押湯重量が半減し、鑄造歩留りが約 10% 以上向上されました。

参加料 1 名、5,000 円 (テキスト代含む。申込み・送金方法・締切りは下記工場見学会と同様です。)

【工場見学会】 ※(定員数 50 名)先着順定員になり次第締め切ります。

日 時 平成 30 年 2 月 14 日 (水)

集合時間 8 時 20 分 (時間厳守)

集合場所 JR 三島駅北口バス停 (東静岡駅ではなく、**三島駅です。** ご注意ください)

見学先

1. 9:00~10:30 東芝機械㈱沼津工場 (沼津市大岡 2068-3, TEL:055-926-5135)

鑄造工場は 500~50,000kg の製造能力を備え、大型長尺の鑄鉄鑄造品を得意としている。自社産業機械を中心として幅広い業種の部品を製造している。操業 75 周年を迎えた、フラン成型による手込めの鑄造工場である。

2. 11:00~12:00 ㈱木村鑄造所本社の鑄造及び加工工場 (静岡県駿東郡清水町長沢 1157, TEL:055-975-7050)

フルモールド鑄造法によって自動車プレス金型、工作機械、産業機械等の鑄物を、フランの手込めで生産している。本社工場は木村で一番古い工場であるが、5S に力を入れている。ワイヤー Mg 処理を導入しており、最近では鑄鋼を再開している。今回は本社にある研究開発設備の一部も見ることができます。木村の本社工場を見られることはまれなので、是非参加して下さい。

12:00~13:00 食事と移動

3. 13:00~14:00 ㈱木村鑄造所伊豆模型工場 (静岡県伊豆の国市北江間字長塚 1798-1, TEL:055-947-5800)

2002 年に手作りから IT による模型作りに完全に移行し、現場では IT 等を駆使して生産性の向上に努めている。また、2017 年には女性化率も約 50% も達成しており、最近ではリバースエンジニアリング (再生製造技術) を利用して、新しい市場も開拓している。IT 模型工場と女性化率 50% の職場の様子を体験して頂けます。

4. 14:30~15:00 江川邸 (静岡県伊豆の国市韮山 1, TEL: 055-940-2200)

今回は、韮山反射炉の前に、韮山反射炉を建設した江川英龍 (坦庵) の江川邸を訪問する。江川邸は 1600 年頃に建てられてから一度も火災にあっていない古い屋敷である。パワースポットのような特別な空間となっており、特殊な木々や不思議が詰まっている。

5. 15:15~16:00 世界文化遺産「韮山反射炉」 (静岡県伊豆の国市中宇鳴滝入 268, TEL: 055-949-3450)

蕪山反射炉は、実物として世界に残された唯一の反射炉です。今回は、前日の蕪山反射炉の話に加えて、実際に蕪山反射炉を見ながら、菅野講師に蕪山反射炉のミステリーと大砲の関係について、説明して頂きます。またとない機会ですので、是非御参加下さい。

- 解散 JR三島駅北口 16時30分頃着（交通事情により到着時間が前後します。）
- 申込方法 申込書にEメールまたはFAXにてお申込み下さい。見学先の都合で見学をご遠慮願う場合もあります。
- 参加料 1名、6,000円（昼食、バス代、江川邸・蕪山反射炉見学代含む。）申込と同時に振込みして下さい。（締切り後のキャンセルはお断りしており、振込み金の返却は出来ません。）
- 送金方法 銀行振込（三菱東京UFJ銀行 金山支店 店番288
普通預金 口座番号：1262063 （公社）日本鑄造工学会東海支部）
- 申込締切日 平成30年1月23日（火）
- 申込先 （公社）日本鑄造工学会 東海支部 事務局 松井 裕幸
〒473-8501 愛知県豊田市高丘新町天王1番地 アイシン高丘(株) 技術開発部内
TEL: 0565-54-1179 FAX: 0565-54-1201 E-mail: jfs-tokai@to.at-takaoka.co.jp
当日緊急連絡先：事務局携帯 090-6396-9258

- その他 ①見学参加証等は発行しません。（見学先の都合等で参加できない方のみ事務局より連絡します。）
②領収書は銀行の振込みを、受領書をもって代えさせていただきます。
③工場見学に参加される企業は、見学先企業から自社の見学要請があった場合、見学を了承下さい。

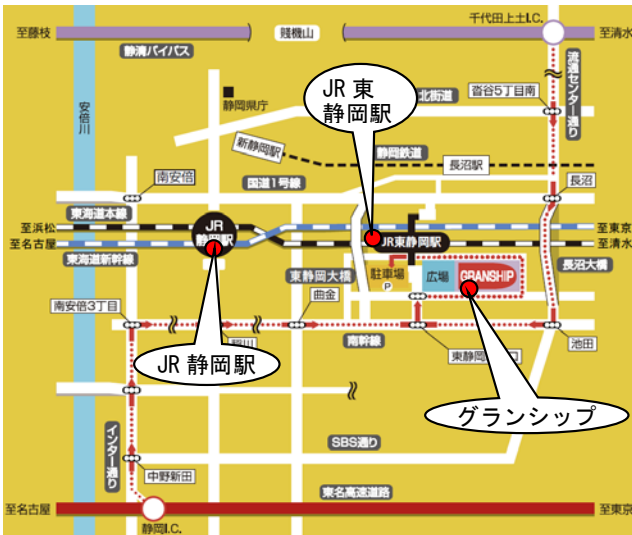


図1「鑄物技術講演会」の場所



図2「工場見学会」の場所

(公社)日本鑄造工学会東海支部事務局 松井 行き
E-mail: jfs-tokai@to.at-takaoka.co.jp FAX: 0565-54-1201

(公社)日本鑄造工学会東海支部 静岡地区「鑄物技術講演会」・「工場見学会」申込書

下記の通り参加を申し込みます。

平成 年 月 日

事業所	名 称:		
	所在地: 〒		
連絡担当者	氏名:	所属・役職:	
	TEL:	FAX:	E-mail:
参加者	氏名:	所属・役職:	* 講演会・工場見学会
	氏名:	所属・役職:	* 講演会・工場見学会
	氏名:	所属・役職:	* 講演会・工場見学会
	氏名:	所属・役職:	* 講演会・工場見学会
*参加希望を○で 囲んで下さい			
送金額	円 (講演会 名, 工場見学会 名)		

申込・送金は、平成30年1月23日(火)までをお願いします。